

1 学校教育目標	
教育目標	①社会人基礎力の育成 ②授業の充実と確かな学力の育成 ③部活動、学校行事等の充実 ④保護者・地域との連携と積極的な情報発信 めざす学校像 ①ビジネスの基礎力を充実させ、ビジネスへの理解力と実践力を備えた生徒 ②明朗で、人間としての常識とゆたかな人間性及びたくましい体力を備えた生徒 ③常に感謝の気持ちを忘れず、他人を思いやり、誠実で謙虚な生徒 ④変化の激しい時代に自ら主体的・積極的に対応でき、創造性を備えた生徒 ⑤日本の伝統文化を尊重し、グローバルな視野をもった生徒
チャレンジ目標	①国立大学2名以上合格 ②公務員10名以上合格 ③就職100%内定、3年間は離職しない進路意識の涵養 ④全商1級3種目以上取得者50名以上
2 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて)	
総務	他の分掌と連携して学校行事の円滑な運営を行う。
教務	校内業務の効率化を行い、新課程に対応した授業内容の検討や精選等に力を入れる体制を整えたい。
生徒指導	挨拶、入退室の礼法は身につけているが、公共の場における社会的マナー、ルールの重要性、正しい服装に関しては継続的な指導が必要。
進路指導	進学に関しては、国立大学3名、下関市立大学2名と結果を残した。就職に関しては5年連続で就職率100%を達成。生徒の実情に即した就職先を開拓していきたい。
保健体育(保健)(体育)	今年度も基本的な生活習慣の定着のため、家庭科教員や担任と連携を取っていきたい。又インフルエンザの予防・蔓延防止対策に更なる力を入れたい。
教育相談	全校集会等での集合・整列を整然と行い、服装指導については生徒指導部と担任団と連携して進めていきたい。 生徒の諸問題の早期発見と未然防止のため、学校生活に関するアンケートを年間7回実施するとともに、SCを適宜活用していきたい。保護者に協力いただく学校安全に関するアンケートの学期に1回(年間3回)の実施を通して、安全や人権に対する意識を高めていきたい。
図書	利用しやすい魅力的な図書館となるよう、図書のレイアウトや配架に工夫を凝らしたり、「万古館だより」の内容を充実させたりしていく必要がある。「朝の読書」もより充実した時間となるような工夫をしていきたい。
情報	校務システムを滞りなく運用するだけでなく、現行システムについての検証を行いシステムに不具合が出た場合の迅速・適切な対応を行う必要がある。
2年	中核の学年としての学習・行事・部活動等意欲的な取り組みを促したい。引き続き礼法・服装指導を徹底し、落ち着いた学習環境を整えたい。
3年	進路指導・生活指導のために学期に1度の個人面談の他、日常的な懇談を実施したい。凡事徹底の指導と習慣化に努めたい。
商業	校内外での研修の充実、科目ごとの授業参観や研究授業などを積極的に進める。地域社会に貢献できる人材を育成できるよう、地元企業と連携し、社会人基礎、ビジネスマナー、実践力を育成していく。
情報処理	情報処理科の方針を明確にし、新教育課程を踏まえた情報処理教育を一層強化する必要がある。学科の特色を強く打ち出し、外部にアピールする必要がある。
業務改善	ICTを活用した業務の支援体制が必要である。各分掌、学年における業務の見直し、改善に取り組む必要性がある。
3 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題	
(1) 社会に貢献できる人間力の育成 ～凡事徹底、部活動・学校行事等でのさらなる飛躍～ (2) 基礎学力の向上 (3) ビジネスにおける実践力の醸成 (4) 保護者・地域との連携強化 (5) 安全安心で、快適な教育環境の整備	

4 自己評価		アンケート評価 5 よくあてはまる 4 ややあてはまる 3 どちらでもない 2 あまりあてはまらない 1 ほとんどあてはまらない に回答された割合			評価:A達成できている B概ね達成できている Cできていない		5 学校関係者評価						
評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	資料	アンケート評価	重点目標の達成状況の診断・分析	評価	学校関係者からの意見・要望等	評価				
総務	積極的な情報発信	①ホームページからの情報提供 ②学校案内などによる広報	ホームページなどを通して、家庭へよく伝わっていると思う	保護者	61.4%	ホームページでの情報発信は、部活動、資格取得の結果を中心にTOPページ(顕著な結果)と新着情報ページで行っている。今年度はTOPページの更新18件、新着情報41件の情報発信を行った。また、9月下旬にはFacebookページを開設し、TOPページの更新と同様の内容について情報発信している。	B	文章ではよく情報が伝わっているが、写真などを入れるとよりわかりやすくなる。下関ハイウェイ等の学校行事が写真で掲載してほしい。Facebookなどの取組はとも良い。同窓会等とリンクさせ、多くの情報発信をしてほしい。	B				
	教務	学力向上	①基礎学力の充実に着目した授業づくり ②自主学習の習慣化への工夫 ③補習・課外や個別指導 ④基礎力診断テストの活用	わたしは、授業の予習や復習、検定試験に向けた学習を家庭で行っている。 基礎学力の充実に着目した授業づくりの工夫を行っている。 わたしは、学校の授業について十分理解していると思う。	生徒 教員 生徒	40.5% 78.6% 70.7%	学力向上については、教員の指導体制、生徒の授業評価等は概ね良好である。また、学習に対する目標や授業に臨む姿勢など日々向上が見られる。一方、生徒の家庭学習時間は増えていない。基礎力診断テストの結果では、生徒の学力は低くない。 支援体制については、評価について検討し、来年度から変更する予定である。また、30年度の新生入生より教育課程を一部変更し、大学入試改革に対応していく。	B	学校内の研修と教員の自己研修で授業力向上に取り組んでいきたい。変革の時代に入っており、指導方法等新たな視点で取り組んでいきたい。	B			
		教員の指導力向上	①生徒による授業評価の実施 ②研究授業、公開授業の実施 ③校内外の研修会への積極的参加	先生方は、あなたの学力の定着を図るための授業や補習など熱心に取り組んでいると思う 授業アンケートの結果に基づき、授業改善に取り組んでいる。 教材研究、公開授業や各種研修会等に参加するなど授業研究に取り組んでいる。	生徒 教員	77.6% 73.8% 61.9%							
		学習支援体制作り	①学習内容の充実 ②授業時間の確保 ③評価基準の検討・改善	本校は、進路に応じた教育課程や選択科目が用意できていると思う。 先生方は、あなたの理解度合った適切な学習指導をしていると思う。	生徒	83.7% 70.9%							
		就職・進学に対応できる生徒の育成	①身だしなみ指導を通じた正しい服装・容儀の指導 ②挨拶の習慣の指導 ③入退室の礼法指導 ④ルールを守るための指導 ⑤社会的マナー遵守の指導	あなたは、基本的な生活習慣が身につく。服装・髪型などの規則を守っていると思う。 本校は、下関生としてふさわしい生徒になるよう適切な生徒指導が行われていると思う。	生徒	93.7% 85.0%							
生徒指導	生徒会活動の活性化	①学校行事への取組 ②各種委員会の活性化	本校の学校行事は充実していると思う。 あなたは、学校の部活動や諸活動に積極的に取り組み、充実した学校生活を送っていると思う。	生徒	71.8% 82.6%	学校内の研修と教員の自己研修で授業力向上に取り組んでいきたい。変革の時代に入っており、指導方法等新たな視点で取り組んでいきたい。	B	学校の雰囲気は良く、社会に求められる人材の育成ができていて感じられる。いじめの対応については、具体的にどのような対応がされているのかわからない部分があるため、取組内容が保護者にわかるように伝えてほしい。	B				
	環境・美化の推進	①清掃活動の徹底 ②ゴミの分別 ③学校周辺の奉仕活動	生徒との清掃活動において十分な指導・監督を行った。 本校は、施設設備をよく整備し、環境美化に努めていると思う。	教員	63.4% 75.8%								
	いじめ防止・情報モラル教育の推進	①いじめ調査の実施 ②情報モラル教育の実施	本校は、いじめの早期発見・早期対応に取り組んでいると思う。 本校は、いじめの早期発見・早期対応に取り組んでいると思う。	保護者 生徒	54.7% 50.4%								
	進路指導	キャリア教育の充実	①生徒・保護者への進路情報提供 ②進路ガイダンスの実施 ③3年間のキャリア教育に基づいた指導	本校は、進路に関する情報を積極的に提供し、生徒への進路指導は十分に行われていると思う。	生徒					84.3%	来年度以降も、生徒の希望が実現できる取組を継続してもらいたい。キャリア教育をしっかりと考えて取り組んで欲しい。高校入試からキャリア教育の基礎をしっかりと作り上げてほしい。	B	B
		就職内定率100%	①求人開拓 ②個別面接指導 ③就職課外指導 ④企業見学への参加	在学中の就職内定率	資料					100.0%			
国立大学を中心とした進学指導		①個別課外指導(小論文)	国立大学合格者数	資料	19名								
保健体育	健康管理	①各種研修会の実施 ②学校保健委員会の充実	AED、アレルギーなどの研修会。	資料	右記	教職員研修等が適切に実施されており、今後も継続的に行っていただきたい。これからは、生徒の安全を第一に考えた対応をお願いしたい。	B	B					
	健やかな心と体の育成	①治療動向等の指導を徹底する ②保健だよりの発行	治療受診率 保健だよりの発行状況	資料	右記 右記								
人権教育	教育相談の充実	①生活アンケートの実施 ②SCと協力して初期問題解決を行う	生活アンケートの実施状況 本校は、生徒の悩みに関する相談について、適切に対応していると思う。	資料 生徒	100.0% 67.2%	生徒が安心して相談できる体制が必要と思われます。生徒に寄り添った対応をお願いしたい。人権教育は、講演会などを実施して生徒の人権意識の向上を促していただきたい。	B	B					
	人権教育の推進	①人権教育に関する講演会の実施	人権教育に関する取組や講演会実施回数	資料	5回(うち教員研修2回)								
図書	読書習慣の育成	①朝の読書の継続 ②「万古館だより」による新着図書、推薦図書の案内	朝の読書時間を有効に使っている	資料	年間1120冊	「朝の読書」は例年通り、生徒の間に定着し、貸出冊数も順調に増加してきている。図書だよりの発行、アンケートによる図書新収など身近な図書館を目指した。 ・校務システムの管理・運用を安定的に行った。 ・情報機器の管理を徹底したい。	B	多くの生徒が利用できる環境整備をこれからもお願いいたします。	B				
情報	情報機器や校務システムの運用	情報機器や校務システムの管理・運用を継続し、問題点に対処する	情報機器や校務システムはきちんと管理されており使用しやすい環境である	教員	95.1%	・業務の効率化をこれからも推進していただきたい。	B	A					
第1学年	基本的な生活習慣の確立	①学年情報の提供 ②保護者会による情報交換	学年やクラスの様子が家庭へよく伝わっている。 本校の学校生活に満足しており、本校に入学してよかったと思う。	保護者 生徒	59.6% 79.7%	・商業高校生としての心構え、礼儀等の基本的な生活習慣身につけさせようとした。細かなところまで身につけているとは言いがたいので、継続指導していきたい。 ・事象ごと、保護者と連絡等をとって対応してきた。	B		B				
	キャリア教育を充実し、進路についての目標を確立する	①学年情報の提供 ②保護者会による情報交換	学年やクラスの様子が家庭へよく伝わっている。 本校の学校生活に満足しており、本校に入学してよかったと思う。	保護者 生徒	59.7% 78.3%								
	進学・就職に向けた知識と態度の育成	①学年情報の提供 ②保護者会による情報交換	学年やクラスの様子が家庭へよく伝わっている。 本校の学校生活に満足しており、本校に入学してよかったと思う。	保護者 生徒	65.0% 83.9%								
商業科	1学年 ビジネスマナーとビジネスの基本を身につける	簿記、ビジネス基礎、情報処理の基本3教科の理解と習得	全商簿記2級、全商情報処理2級、商業経済検定3級の取得	資料	96.0%	・1年生の簿記2級・情報処理2級・商業経済3級ともに、96%以上の結果が残り、基礎的な知識・技術の習得ができています。 ・2年生の簿記1級の合格者数が約70名(35%)である。内容も難しくなり、ここ数年合格者数が減少傾向にある。現状を分析し、来年度に向けて対策を立てていきたい。 ・3年生の卒業時点での全商検定3種目1級取得者数が31名であった。ここ数年、大きく変化していないが、50名を目標に取組を強化していきたい。	B	学習目標の一つとして、多くの資格取得に力を入れてほしい。特に簿記に関する資格取得は、高いレベルの資格が取得できるように取り組んでほしい。	B				
	2学年 上級資格取得への取組	簿記上位級のチャレンジ	全商簿記1級の取得	資料	35.0%								
	3学年 実社会に通用する生徒の育成	実践的学習の強化	全商3種目合格者数	資料	31名								
情報処理科	1学年 情報処理に関する基礎的な知識・技術の定着	プログラミングや情報処理に関して興味を持たせる	全商簿記2級、全商情報処理ビジネス情報部門2級の取得 プログラミングに関して興味関心を持たせる	資料	98%	・1年生は全商簿記2級、全商情報処理2級だけでなくとどまらず、日商簿記3級にも多くの生徒が合格した。 ・2年生の検定1級の合格率が伸びなかった。指導する内容の精選と科目間の連携が必要である。 ・自主的な検定取得を促すため教室に検定取得を推進する掲示物を作成した。 ・3年選択「プログラミング応用」ではレベルの高い作品を制作することができた。	B	情報化社会に対応できる人材育成をお願いしたい。プログラミング学習等、学科の特色を出した取組を今後も継続してもらいたい。	B				
	2学年 情報処理に関する専門的な知識・技術の習得	実践的な技術を身に付ける	全商簿記1級、全商情報処理ビジネス情報部門1級の取得 与えられた課題から処理内容を自分で考えてプログラムを作成することが出来る。	資料	30%								
	3学年 専門的な分野を自主的に学ぶ意欲・態度の育成	課題研究や選択科目を通して高いレベルの知識・技術を身に付ける	全商3種目合格者数 より高いレベルの知識・技術を身に付ける(ITパスポートや日商簿記2級)	資料	13名								
教育活動の推進	特色ある推進	高度な学習の展開	高度資格取得に向けた取組	資料	右記	昨年度に続き、日商簿記1級合格者がでっており、さらに税理士試験科目合格者が出ている。 ・税理士試験 財務諸表論合格2名 ・日商簿記検定1級 2名合格 ・全経簿記検定上級 1名合格	A	税理士試験科目合格や日商1級合格など、高いレベルの資格取得が継続的に出ていることは、高評価されることである。学習意欲が高い生徒をさらに伸ばしてほしい。	A				

5 次年度への改善策

【総務】ホームページの形式や内容を工夫し、有効な情報発信を心掛けたい。

【教務】授業内容の改善だけでなく、大学入試改革に対応した指導などを各教科と連携して検討していく。

【生徒指導】生徒指導部の教員が中心となり、担任・他分掌と連携を図り、きめ細かな指導を図っていききたい。

【進路指導】就職については、地元の信頼が厚いことに慢心することなく、企業との繋がりを図っていききたい。進学（特に大学進学）については、小論文対策をするうえで1、2年のうちから基礎学力を身に付けさせたい。

【保健体育】（体育）保健体育科の教員が中心となり、各担任や生徒指導部との連携を強化していききたい。（保健）生徒の健康に関する研修を年間計画を作成し実施していく。また、生徒保健委員の活動を活性化していくと共に保健だよりなどを通して保護者への情報提供を行う

【教育相談・人権教育】アンケートの必要性に変化はなく引き続き行うべきであるが、妥当性の検討を重ね、データの読み取り精度を高めていききたい。

【図書】寄贈本の早期の整理・登録を進め、併せて書架への配置を工夫して行う。アンケートなども取り入れながら、蔵書の充実を図っていききたい。

【情報】次年度はリース契約最終年度である。教員からの要望を聞き、校内システムのよりよい在り方の模索や情報機器の一層の活用促進を図りたい。

【第1学年】中核の学年として自覚を持ち、学習・行事・部活動等に対して意欲的な取り組みを促したい。引き続き礼法・服装指導を徹底し、落ち着いた学習環境を整えたい。資格取得についても、積極的な取り組みを促したい。

【第2学年】商業高校生としての最終学年に向け進路実現などを継続し指導する必要がある。次年度に向け自己目標を決定するよう指導していききたい。学力向上のために継続的な家庭学習を促す必要がある。

【第3学年】進路決定をした後のモチベーションの保持をどうするか。日々の生活態度だけでなく、進学後の学習不足を埋める努力、就職後の心構え等、意識の高揚を図ることのできる指導の強化を行いたい。

【商業】教科指導について、内容や指導方法、また検定対策など教科担当間の連携を密にし各種検定試験の合格率を向上させることができるよう対策を立てていききたい。商業科授業全体を通して、ビジネスマナー指導ができるよう取り組んでいききたい。

【情報処理】教育課程変更も視野に入れて科目の工夫を図る。指導できる教員を養成する。学科として生徒のモチベーションを高める取り組みを行いたい。情報処理科を対外的にPRすることに重点をおきたい。